

第8回 パネル調査・カンファレンス

*敬称略

【主催】: 財団法人 家計経済研究所

【共催】: 慶應義塾大学・大阪大学・一橋大学各GCOE、東京大学社会科学研究所

【日時】: 2008年12月24日(水) 10:30~15:10

【会場】: ホテルグランドヒル市ヶ谷2F 白樺西

10:30~10:35 開式の辞 土肥原 洋(財団法人 家計経済研究所)

司会: チャールズ=ユウジ・ホリオカ
(大阪大学社会経済研究所)

10:35~11:10 「東大社研パネル調査(JLPS)に見る社会的態度・意識の変動」
三輪 哲(東京大学社会科学研究所)

11:10~11:45 「合理的な消費行動: 計画能力と実行能力の重要性」
窪田 康平(大阪大学大学院経済学研究科)

11:45~12:20 「家計時間配分に関するパネルデータの分析—KHPSに基づいて」
馬 欣欣(慶應義塾大学先導研究センター)

12:20~13:10 昼食 (ホテルグランドヒル市ヶ谷2F 芙蓉)

司会: 永井 暁子
(日本女子大学人間社会学部)

13:10~13:45 「学習院大学経済経営研究所『女性の就業と消費意識に関するパネル調査』の概要」
青木 幸弘(学習院大学経済学部)

13:45~14:20 「夫妻の就業パターンと家計」
李 秀眞(日本学術振興会(お茶の水女子大学) 外国人特別研究員)

14:20~14:55 「DEWKS女性の就業特性と居住特性の変容過程」
藤岡 泰寛(横浜国立大学大学院工学研究院)

14:55~15:05 「総括」
樋口 美雄(慶應義塾大学商学部)

15:05~15:10 閉式の辞 土肥原 洋(財団法人 家計経済研究所)

* 各報告の時間は、発表20分+質疑応答15分です。